



「百見」は「一聞」に如かず  
タマゴ型のタイムドメインオーディオシステム  
[ ECLIPSE TD 512 ] photo: Murayama Shinori

メーカー 富士通テン(株)  
URL [www.eclipse-td.com](http://www.eclipse-td.com)

「TD」とは「タイムドメイン」の略。従来のオーディオシステムが周波数成分を忠実に再現しようとする指向(フリケンシードメイン)であるのに対して、時間に沿った音圧の変化として再現しようとするのが、タイムドメインだ。筆者自身、オーディオの性能をうんぬんしようとする時、まさきに周波数特性というファクターに目をやってしまう。それが間違いのものなのだ、タイムドメイン理論は唱える。つまり、いくら周波数特性がフラットでもそれは同じ形をした音の再現を保証するものではないということだ。このあたり、理論的な話はウェブサイトで読める。まずは百見は一聞にしかず、店頭などで試聴されることをおすすめする。  
(クワクポリョウタ / デバイスアーティスト)



本能的にうごめく姿がリアルな、行動型の昆虫ロボ  
[ B.I.O.-BUGS ]

メーカー Hasbro, Inc.

URL [www.wowwee.com/biobugs/biointerface.html](http://www.wowwee.com/biobugs/biointerface.html)

いわゆる「育てゲー」の要素と格闘メカの要素が組み合わさった昆虫ロボ。地面を動きまわることで外界に順応して、少しずつレベルアップしながら行動パターンを増やしていく。飼い主は、成長を促すようときおりコントローラーで相手をしてやればよい。「バイオ・バグズ」には4種類のキャラクターが存在し、色、形、性格が違っている。それぞれが他のバイオ・バグに出会うと赤外線で交信し、同じ種ならば仲良く、異なる種ならばケンカを始める。ケンカで負けると仲間を呼び集めたりと、なかなか高度な機能も盛り込まれている。あの「ファービー」が、アクティブかつアグレッシブになったようなものかといえばわかっていただけるだろうか。  
(クワクポリョウタ)

掃除の本質を思い起こさせる「発想の大逆転」  
[ スポットと小町 ]

メーカー (株)日立製作所

URL [kadenfan.hitachi.co.jp](http://kadenfan.hitachi.co.jp)

ふつう、電気掃除機といえばゴミを吸い込むものだ。しかし、よく似た機構で全く逆の動作をするものに、「ブロアー」という機械がある。特に屋外で使われるが、噴出する空気でゴミを吹き飛ばしたり、集めたりするものだ。この「スポットと小町」は、ノズルを付け替えることで集塵機としてもブロアーとしても機能する、めずらしい掃除機だ。観葉植物の葉に積もったホコリを一気に取り除く、なんてことは吸い込み式では簡単ではないが、ブロアーならばそれができる。よくよく考えてみれば、吸い込み型よりもブロアーのほうが、ハタキやほうきの働きに近いのである。  
(クワクポリョウタ)



## ナゾも残るが省スペースな、ハイブリッドプロダクト [ デジタル スリムフォン パオ ]

photo : Murayama Shinori

メーカー (有)ムーヴ

URL [www.mo-ve.co.jp](http://www.mo-ve.co.jp)

マウスパッドのなかに超薄型電話機が入ってしまったハイブリッドプロダクト。マウスパッドの表面にはプッシュボタン、側面にはヘッドセット接続用の端子が装備されている。機能としては普通の有線電話そのもの。仕事に欠かせない12つのアイテムが合体したことでデスク上の省スペース化が図れる。なぜマウスパッドを電話に? というところに若干のナゾが残るが、一日の多くを電話応対やパソコンのオペレーションに費やす人には快適な作業環境をもたらしてくれるかもしれない。  
(クワクポリョウタ)



PRO'S Products  
FEBRUARY



半導体メーカーならではの高密度プロダクト  
カタチもユニークなパーソナルコミュニケーター  
[ Geode Origami ]

メーカー National Semiconductor Corp.  
URL [www.national.com/origami/](http://www.national.com/origami/)

「小さなボディにいろんな機能」は日本のお家芸のはず。だが、いまやそうも言っていられなくなってきた。たとえばこの「Geode Origami」はBluetoothとホットスポット利用を前提にしたモバイルコミュニケーター。4インチのタッチスクリーン式VGA液晶ディスプレイを使ったテレビ電話からビデオカムコーダー、MP3、PDA、ウェブ、電子メールなど8つの機能すべてがWindows XPの上で走るという。「オリガミ」の名のとおり、ヒボットを使った折り畳み式で、カメラとディスプレイ部分を立てて利用できるところがユニーク。耐久性を考えるとデザイン的に無理があるような気もするが、使い勝手優先で魅力を演出、あとは技術力でバックアップという意気込みは見習いたいものである。  
(今泉 洋 / 武蔵野美術大学デザイン情報学科教授)

精度を高めるデュアルセンサー  
[ MouseMan Dual Optical ]

photo : Murayama Shinori

メーカー (株)ロジクール  
URL [www.logicool.co.jp](http://www.logicool.co.jp)

光学式センサーを2つ装備することで検出精度を向上したマウス。センサーが1つの光学式マウスがこれまで苦手としてきた、木目などの面も正確にトラッキングする。同梱される「WebWheel」というソフトは画面上に現れるジョグダイヤルでウェブブラウザを簡単にするものだ。画面に表示されるダイヤルがマウスのホイールと連動しているなど、いろいろと高度な工夫が凝らされている。だが、もっと原始的な部分で、親指が少し引っかかるようにデザインされたマウスの形状そのものもなかなかよくできているのが良い。このカットのおかげで、マウス操作でひんぱんに出てくる「持ち上げる動作」がとても楽になるのだ。  
(クワクポリョウタ)





PC時代のクルマからPDA時代のSegwayへ  
“パーソナル”をとことん貫いたラジカルな1台  
[ Segway ]

メーカー Segway LLC.  
URL [www.segway.com](http://www.segway.com)

「ジンジャー」の正体はわかったが、このセグウェイの本質を見抜くにはまだ時間がかかりそうだ。しかし「アメリカ人のクルマ利用の半分が5マイル以下の近距離」に始まって、「歩きに勝るお出かけ手段はなし」「セグウェイでご近所を広げよう」「ダンスパートナーのようにあなたをしっかりフォロー」なんて魅力的な宣伝文句を読んでいくと、あのジョブスが「革命的」と言った意味がわかってくる。おそらく日本でも同じようなアイデアはあったんだろうが、きっと例によって量産となると既存のジャンルから抜け出られなくて、高性能な電動自転車くらいでお茶を濁しちゃったんだろうな～。ジャンル破壊ができなくて悔しかった日本のデザイナーは何人くらいいるのだろうか？  
(今泉 洋)

## ベーシックな姿カタチで一気に普及を狙うテレビ電話 [ BB tell VP-77C ]

メーカー (株)コンパル  
URL [www.compal.to](http://www.compal.to)

急速に高機能化するパソコン。いまや周辺装置したいでなんでもできてしまうスーパーマンだが、詰め込み過ぎで扱いがちょっと複雑。ふつうの人には用途限定でも、それなりのかたちをした専用機の方が馴染みやすいのは事実。「BB Tell」は古典的電話機とほぼ同じカタチ、大きさ、簡単なボタン操作で使えるブロードバンド専用テレビ電話だ。毎秒24～30コマの滑らかな画像が出色。アドレス登録は100人分だが、相手も固定IPの割り当て可能なブロードバンド環境にいないと使えないならこの程度で充分。それよりも、NTSC外部入出力端子を活かした簡易放送の用途に注目すべきか? 値段が高い、デザインもイマイチとまだ気になるところも多いが、ひょっとするとネットワークの普及が予想される注目株だ。  
(今泉 洋)



## 生まれも育ちも Java あとはビジネスフレームの完成待ち? [ イオ ]

開発元 KDDI 研究所  
URL [www.kddilabs.jp](http://www.kddilabs.jp)

前評判ほどじゃない、いや派手さはないが臨界点まであと一歩……という具合に評価のまちまちなJava。そろそろ分かりやすいヒットでも飛ばしてくれないとな～、というところに出てきたのがこの「イオ」。Java専用チップにタッチパネルだけのインターフェイス、RJ45コネクタで電力供給を受け、TCP/IP機能を持つ、Javaアプリケーション用のテスト機なのだが、XMLベースのベクトルグラフィックスフォーマット「SVG」に対応。その特徴を生かして複数のウェブページの地図情報などを統合して表示可能なドキュメントブラウザ「JaMaPS」が動く……というのが今回のポイント。ルックスはいかにも実験機だが、中身は現実的な提案に満ちている。マシンだけで市場を引っばれる時代じゃなし、リアルな利用イメージで環境構築をアピールか?  
(今泉 洋)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)